

長崎県美容専門学校 令和4度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
衛生管理(衛生管理技術)	○		2年生	33	○			有	加藤やよい
到達目標				成績評価の方法・基準					
・美容の仕事は、直接人に器具に触れて技術を行う				小テスト					
作業で数多いお客様の中には、いろいろな感染症を				定期試験(80%)					
持つ人がいることもあり、そのためにいつも適切な消毒を				ノート提出(10%)					
行い病気を未然に防げるよう、美容所において用いられる				平常点(10%)					
代表的な消毒法等について正しい取扱い等を身に付けさせる									
使用教材・教具				参考文献					
教科書・ノート									
美容師法に基づいた消毒薬・器具・メスシリンダー、バット									
ビーカー、攪拌棒など									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	1節 消毒とは 病原微生物と非病原微生物 及び消毒の原理							
		2節 消毒の意義 1 汚染、感染、発病と消毒の意義 2 殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義							
		3節 理容・美容の業務と消毒の関係							
3	講義	美容師法に基づいた消毒の方法を説明							
		4節 消毒法と適用上の注意 理容師・美容師の責任							
		2章 消毒法各論 P148～							
3	講義	理学的消毒法、消毒に必要な条件など							
		化学的消毒法、消毒に必要な条件など 薬品の現物を見せる							
		微生物の抵抗力、消毒薬、消毒液の使用、保存上の注意							
3	講義	紫外線消毒法について							
		煮沸、蒸気消毒について							
		アルコール類について特徴等							
3	講義	次亜塩素酸ナトリウムについて							
		界面活性剤について							
		グルコン酸クロルヘキシジンについて							
3	講義	その他の消毒薬(家庭用常備薬)について							
		すぐれた消毒法の条件、消毒を行う際の注意事項							
		理学的消毒法と化学的消毒法の消毒時間、特徴などのまとめプリント記入							
3	講義	消毒法別殺菌効果一覧表記入							
		消毒薬のあらまし							
		濃度の表し方							
3	講義	器具の使い方・消毒薬希釈の仕方							
		希釈法(逆性石けん水溶液・次亜塩酸ナトリウム・水溶液の調整法)							
		// エタノールの希釈法							
3	講義	消毒の原則、消毒設備、							
		美容器具類の消毒方法							
		美容で使用する器具類に対して適した消毒剤の選び方や消毒の際の注意							
3	講義	美容室所の消毒設備							
		美容器具の消毒法・消毒の前に、消毒の際の注意点、							
		蒸し器、紫外線消毒器による消毒の注意点							
3	講義	美容師の手指の消毒							
		清掃							
		各種消毒薬の希釈の仕方							
3	講義	理学的消毒法と化学的消毒法の消毒時間、特徴などのまとめ小テスト							
		パワーポイントでクイズ形式問題							
		小テスト(過去問に挑戦)							
3	講義	試験勉強							

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
保健(人体の構造及び機能)	○		2年	33	○			有	島田 幸長
到達目標				成績評価の方法・基準					
皮膚、毛髪などを主とする、人体の構造、機能に関する科学的、系統的知識を美容技術と関連させながら学ばせ、単元ごとに理解させる。				定期試験(60%) 小テスト(40%)					
使用教材・教具				参考文献					
教科書 3D映像 プリント(問題集)				『マンガでわかる人体のしくみ』坂井建雄監修 池田書店 『ぜんぶわかる人体解剖図』坂井建雄・橋本尚詞著者 成美堂出版 ヒューマンアトミー・アトラス2019 筋肉/骨格-解剖学3Dアトラス					
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1	講義	人体各部の名称 頭部、顔部、頸部の体表解剖学							
2	小テスト								
3	講義	骨の種類と構造 骨の連結							
4		骨格器系とそのはたらき							
5	小テスト								
6	講義	筋の種類とその特徴 主な骨格筋とそのはたらき 顔面筋と表情運動 理容・美容の作業と筋疲労							
7									
8									
9	小テスト								
10	講義	神経系の成り立ち 中枢神経とそのはたらき 末梢神経とそのはたらき							
11									
12									
13	小テスト								
14	講義	視覚 聴覚 平衡感覚 味覚 嗅覚 皮膚感覚							
15									
16									
17									
18	小テスト								
19	講義	血液のあらまし 血液循環の仕組み 血液の循環経路 心臓と血管のはたらき リンパ管系の仕組みとはたらき							
20									
21									
22									
23									
24	小テスト								
25	講義	呼吸器系のあらまし 気道 肺の仕組みとガス交換 呼吸運動							
26									
27									
28	小テスト								
29	講義	消化器系のあらまし 消化管の仕組み 消化管のはたらき 消化と物質代謝							
30									
31									
32									
33	小テスト								

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
保健(皮膚科学)	○		2年	66時間	○			有	永本 真由美
到達目標				成績評価の方法・基準					
皮膚および皮膚付属器官の構造や機能、保健衛生など				小テスト(単元毎)					
また疾患についての知識とその予防を理解する。				定期試験(100%)					
皮膚および皮膚付属器官の疾患についての知識と									
その予防について学習する。									
使用教材・教具				参考文献					
パソコン									
プロジェクター									
プリント									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	第1章 皮膚の構造 ・皮膚表面 ・皮膚の断面 ・表皮							
4～5	講義	・表皮と真皮の境 ・真皮 ・皮下組織 ・皮膚の部位差							
6	小テスト								
7～12	講義	第2章 皮膚付属器官の構造 ・毛 ・脂腺							
13～18	講義	" ・汗腺 ・爪							
19	小テスト								
20～21	講義	第3章 皮膚の循環器系と神経系 ・皮膚の血管 ・皮膚のリンパ管 ・皮膚の神経							
22～14	講義	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ・対外保護作用 ・体温調節作用							
25～27	講義	" ・知覚作用と皮膚反射 ・分泌排泄作用							
28～29	講義	" ・呼吸作用 ・吸収作用 ・貯蔵作用							
		・免疫、解毒、排除作用 ・再生作用 ・毛のはたらき ・爪のはたらき							
30	小テスト								
31～33		テスト勉強							
	定期試験								
34～36	講義	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 ・皮膚と全身状態 ・皮膚と精神 ・皮膚と栄養							
37～39	講義	" ・皮膚と嗜好品 ・皮膚と体内病変 ・皮膚の水分と脂の状態							
40～41	講義	" ・皮膚、付属器官とホルモン ・皮膚の保護と手入れ							
		・毛の保護と手入れ ・爪の保護の手入れ							
		・子どものおしゃれによる皮膚トラブル							
42	小テスト								
43～45	講義	第6章 皮膚と皮膚属器官の疾患 ・皮膚の異常とその種類 ・皮膚疾患の原因 ・皮膚疾患の治療法							
46～48	講義	" ・皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹 ・口唇の疾患							
		・温熱、寒冷による皮膚障害							
49～51	講義	" ・角化異常による皮膚障害 ・色素異常による皮膚疾患							
		・血管腫 ・脂腺母斑 ・下肢静脈瘤							
52～57	講義	" ・分泌異常による皮膚疾患 ・化膿菌による皮膚疾患							
		・ウイルスによる皮膚疾患							
58～60	講義	" ・真菌による皮膚疾患 ・衛生害虫による皮膚疾患							
		・感染症の皮膚疾患							
61～62	講義	" ・毛と爪の疾患 ・皮膚の腫瘍							
63	小テスト								
64～66		試験勉強							
	定期試験								

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
美容文化論	○		2年生	66	○			有	上野 広大
到達目標				成績評価の方法・基準					
現代のファッションや技術に至るまでの過程を				定期テスト					
知ること新しいデザインを創造する力をつける				ノート提出					
				出席状況					
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備します。				参考文献					
文化論教科書									
筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	総論 1. 理容・美容の語義 2. 理容・美容と現代社会 3. 文化史の中の理容・美容 4. 理容・美容と造形要素 5. 理容師・美容師の仕事の中で							
3～9	講義	日本の理容業・美容業の歴史 1. 理容業・美容業の発生 2. 江戸時代の理容業・美容業 3. 近代の理容業・美容業 4. 現代の理容業・美容業							
10～18	講義	ファッション文化史(日本編) 1. 縄文・弥生・古墳時代 2. 古代(飛鳥・奈良・平安時代) 3. 中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) 4. 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)							
19～27	講義	5. 近世Ⅱ(江戸時代) 6. 近代(明治・大正・昭和20年まで) 7. 現代Ⅰ(1945年～1950年代)							
28～36	講義	8. 現代Ⅱ(1960年代～1970年代) 9. 現代Ⅲ(1980年代～1990年代) 10. 現代Ⅳ(2000年代以降)							
37	小テスト	ファッション文化史(日本編)小テスト							
38～41	講義	ファッション文化史(西洋編) 1. 古代エジプト 2. 古代ギリシャ・ローマ 3. 古代ゲルマン 4. 中世ヨーロッパ							
42～45	講義	5. 近世Ⅰ(16世紀) 6. 近世Ⅱ(17世紀) 7. 近世Ⅲ(18世紀) 8. 近代Ⅰ(18世紀末～19世紀初め)							
46～49	講義	9. 近代Ⅱ(19世紀) 10. 現代Ⅰ(1910年代～1920年代) 11. 現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半) 12. 現代Ⅲ(1940年代後半～1950年代)							
50～53	講義	13. 現代Ⅳ(1960年代) 14. 現代Ⅴ(1970年代) 15. 現代Ⅵ(1980年代) 16. 現代Ⅶ(1990年代～2010年)							
54～56	講義	礼装の種類							
57	小テスト	ファッション文化史(西洋編)、礼装の種類小テスト							
58～66	講義	総復習							

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容理論Ⅱ	○		2年生	33	○			有	諸隈 直子
到達目標				成績評価の方法・基準					
美容師として必要な技術の知識を理解する。				小テスト(10%)					
国家試験問題に対して正しく				定期試験(80%)					
解答できるようになる。				ノート提出(10%)					
使用教材・教具				参考文献					
教科書、ノート、筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～8	講義	エステティック	エステティックの概論 カウンセリング 皮膚の生理と構造 マッサージ理論 フェイシャルケア技術、デコルテ フェイシャルパック						
9～12	講義	ネイル技術	ネイル技術の種類 爪のカット形状・構造 ネイルケア アーティフィシャルネイル 手足のマッサージ						
13～19	講義	メイクアップ	顔の形態的観察 メイクアップと色彩 スキンケア ベースメイク アイメイク リップメイク ブラッシュオンメイク まつ毛エクステンション						
20～25	講義	日本髪	日本髪の由来 名称・種類と特徴 日本髪の各部の名称 日本髪の結髪技術 かつらのつけ方						
26～33	講義	着付けの理論と技術	着付けの目的 礼装・季節に合った着物 着物のいろいろ 帯の種類・小物類 各部の名称・たたみ方 着付けの手順 男性着付けの礼装 男性、女性の袴の着付け						

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容理論Ⅱ	○		2年生	33	○			有	上野 広大
到達目標				成績評価の方法・基準					
配色の基礎・理論を理解し、色彩検定3級もしくは2級に合格すること。				小テスト、出席状況、検定合否					
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備します。				参考文献					
色彩検定対策教科書									
筆記用具									
のり、はさみ									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	色のはたらき 光と色							
4～6	講義	色の表示 カラーサークル作成							
7～9	講義	色彩心理							
10～12	講義	色彩調和							
13～15	講義	色彩効果 色彩と生活 ファッション インテリア							
16～18	講義	慣用色名 総復習							
19～33	講義	模擬試験(過去問) 2級受験希望者は、3級受験希望者が過去問を解いている間に2級対策テキスト重要箇所の説明をする。							

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
運営管理	○		2年	33	○			有	島田 幸長
到達目標				成績評価の方法・基準					
日常の仕事に必要な心構えから、自分が店を開いて運営していくまでの幅広い内容を、3つの単元に分け、できる限りわかりやすく勉強していく。				定期試験(100%)					
使用教材・教具				参考文献					
教科書 プリント(問題集)									
授 業 計 画									
時間	授業方法			学修内容					
1				第1章 経営とは・経営者とは					
				第1節 経営が必要とされる理由					
2				第2節 継続が難しい理由＝経営が必要な理由					
				第3節 経営とは何か					
3				第4節 経営資源と経営計画					
				第5節 経営戦略					
4				第6節 経営戦略が目指すもの 顧客に選ばれるよい店の実現					
				第2章 理容業・美容業の経営について					
5				第1節 業界の概要					
				第2節 競争の変化					
6				第3節 サービスとしての理容・美容					
				第4節 理容業・美容業の顧客について					
7				第3章 資金の管理					
				第1節 資金管理の重要性					
8				第2節 収支と損益					
				第3節 会計の考え方					
9				第4節 コストを管理する					
				第5節 税金について					
10				第1章 人という資源					
				第1節 人という資源とは					
				第2節 人の能力を高める					
				第3節 人をやる気にさせるために					
				第4節 給与					
				第5節 待遇・福利厚生					

講義	11	第6節 労働者の権利 第2章 健康・安全な職場環境の実現
		第1節 健康管理の基礎
	12	第2節 理容・美容の仕事と健康
		第3節 理容業・美容業に特徴的な健康問題
	13	第4節 理容・美容の作業環境に関する健康問題 第3章 従業員としての視点から
	14	第1節 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任
	15	第2節 社会保険① ～公的年金～
	16	第3節 社会保険② ～医療保険～
	17	第4節 社会保険③ ～労働保険～ 第5節 キャリアプランの重要性
		第6節 仕事をするうえで考えるべきこと
	18	第1章 サービス・デザイン
		第1節 顧客が求める価値
	19	第2章 価値の実態
		第3節 顧客満足の実現のためのシステム
	20	第4節 最も重要な価値:人
		第5節 価値の多様性 顧客が求めるもの
		第6節 サービスの範囲
	21	第2章 マーケティング
		第1節 理容業・美容業のマーケティング
	22	第2節 マーケティング・ミックス
		第3節 マーケティング・ミックスの要因 短期的要因①
		第4節 マーケティング・ミックスの要因 短期的要因②
	23	第5節 マーケティング・ミックスの要因 長期的要因①
		第6節 マーケティング・ミックスの要因 長期的要因②
		第7節 サービスのシステム化
	24	第3章 サービスにおける人の役割
		第1節 接客についての理解
	25	第2節 よい接客のために
		第3節 接客の実践①
	26	第4節 接客の実践②
		第5節 接客の実践③
	27	第6節 接客の実践④
		第7節 接客の実践⑤
	第8節 接客におけるトラブルと対応	
28・29	第9節 接客で発生が予想される問題	
	第10節 問題を深刻化させないための対策・対象	
30~33	試験勉強	

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容実習	○		2年生	406			○	有	永本・上野・諸隈
到達目標				成績評価の方法・基準					
ワインディング、オールウェーブ、レイヤーカットにおいては									
国家試験合格レベルに作成できるようになる。				出席状況					
その他の技術においては、サロンで応用できるように				校内コンテスト、各テスト					
基本の技術を定着させる。									
使用教材・教具				参考文献					
ワインディング用具一式、ウェーブ用具一式、カット用具一式									
カラー用具一式、ブロー用具一式、									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～9	実技	・ワンレングスカット 9時間目に40分間でブローとチェックカットまでのテストを行う。							
10～18	実技	・グラデーションカット 9時間目に40分間でブローとチェックカットまでのテストを行う。							
19～36	実技	・相モデルパーマ、相モデルカラー パーマもカラーも初めは、水巻きやトレーニングクリームを使い、薬剤塗布が問題なく行えるようになったら、実際に薬剤を用いて相モデルで施術を行う。							
37～48	実技	・モデル実習(計4回) 家族や友人などに学校へ来ていただき、今までに学んだ技術を応用して施術を行う。							
49～150	実技	・ヘアショー準備、ヘアショー 本番に向けて、1年生と協力しながら月に1回から2回話し合いと準備を行う。 9/20～9/6までは準備期間、9/7ヘアショー本番							
151～162	実技	・長崎医師会ボランティア(計4回) 1人2回ずつ長崎医師会へカットやネイル、ハンドマッサージなどのボランティアを行う。							
163～180	実技	・就職ガイダンス、BAP 進路に向けて様々なサロンの説明をオンラインで聞くことで就職活動に役立てる。 実際にサロンで活躍している美容師の方々に技術を教わり、実践的な技術習得を行う。							
181～270	実技	・ワインディング 20分間に間に合わせるだけでなく、1本1本のロッドの仕上がりと全体のバランスを1年次以上に意識しながら国家試験合格レベルまで技術力を向上させる。							
271～345	実技	・オールウェーブ 25分間で7弾構成を作成できるようになる。 国家試験合格レベルの作品を作れるようになる。							
346～406	実技	・国家試験対策(レイヤーカット) 20分間で仕上げるだけでなく、立ち位置やパネルの引き出し方など実際にサロンでカットを行うことも想定したうえで、国家試験合格レベルの技術を身につける。							

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
エステティック	○		2年生	66	○	○	○	有	楠本 佳世
到達目標				成績評価の方法・基準					
・一人ひとり異なる身体や心の特徴、状態を踏まえながら、化粧品や関連機器、器具さらにエステティック技術、カウンセリングを駆使して、お客様の心に満足とやすらぎを与えるとともに、肌や身体を健康的で美しい状態に保持、保護する方法を習得する。				実技試験(50%)					
				筆記試験(50%)					
使用教材・教具				参考文献					
エステティックFUKUSHO教本 エステティック器具 機械 化粧品 コットン 精製水 ティッシュ				エステティックFUKUSHO FACIAL BASIC THEORY エステティックFUKUSHO FACIAL BASIC TECHNIQUE					
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	エステティック概論 エステティック業と法律							
4～6	演習実技	ベット、ワゴンセッティング・ベットご案内・ドレーピング・ターバン							
7～9	講義	エステティックカウンセリングの意味と目的、スキンチェック							
10～12	演習実技	相モデル セッティング サブテクニク復習 スキンチェック							
13～15	講義	肌質について・皮膚トラブルについて							
16～18	演習実技	セッティング ・サブテクニク復習							
19～21	講義	エステティック機器学 スチーム アイオニック ピーリング キッシング パター							
22～24	実技	エステティック機器学 クール&ウォーム スプレー							
25～27	実技	中間テスト 筆記試験							
28～30	実技	" 実技試験							
31～36	講義	フェイシャルトリートメント総論							
37～42	演習実技	フェイシャルトリートメント(クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック)							
43～48	実技	フェイシャルトリートメント(クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック)							
49～54	実技	フェイシャルトリートメント(クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック)							
55～66	講義実技	総合試験 筆記試験 実技試験							

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
美容 カウンセリング	○		2年生	66	○		○	有	諸隈 直子
到達目標				成績評価の方法・基準					
・人とのコミュニケーションをどのようにとっていくか。				ノート提出					
・サロンにおけるヘア・ケアアドバイスや毛髪の				定期試験(100%)					
基礎知識を学習				小テスト					
・就職活動の流れとポイントを学習									
使用教材・教具				参考文献					
テキスト、ノート、プリント、必要に応じて指示する									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	就活に備えて学習							
4	実習	ピアカウンセリングの目的							
5～7	講義	カウンセリング内容をクライアントの欲求で分ける							
	講義	コンサルティングとは							
	講義	コーチングとは							
	講義	心理カウンセリングとは							
8～15	講義	個人情報保護							
	講義	心の仕組みと働き							
	講義	コミュニケーションとストレスの関係							
	実習	カウンセリングのプロセス							
	講義	3つの相談方法							
16～25	実習	ロープレーによる傾聴訓練							
	実習	エンカウンターグループ							
	実習	スキルアップ訓練							
	講義	職場で起こるトラブル対応の訓練							
26～28	講義	4つのメンタルヘルスケア							
	講義	ストレス管理							
	講義	ストレッサーとストレス反応							
	講義	カウンセリングは重要な職場のシステム							
28～32	講義	毛髪・皮膚コンサルティング							
	講義	美容室でのコンサルティングの必要性							
	実習	コンサルティング正しく行うために							
	実習	コンサルティングを行う際の態度							
	講義	サロン繁栄のためのコンサルティング							
33～35	講義	機器診断と触診							
	講義	毛質(髪質)について							
36～39	講義	顧客の希望の確認							
	講義	断毛と脱毛							
	講義	頭皮の確認							
	講義	薬液の選定と施術料の提示							
40～43	講義	ヘアカラー製品の選定							
	講義、実習	酸化染毛剤のパッチテスト							
	講義	パッチテストで異常を生じた際の対応と染毛料の使用							
	講義	染め上がりの色と退色							
	講義	染毛剤使用上の注意について							
44～49	講義	シャンプー							
	講義	ヘアトリートメント							
	講義	施術後のヘアデザイン							
	講義	ヘアカット							
	講義	ヘアスタイリング剤							
	講義	ヘア製品							
50～66	講義	化粧品の使用上の注意と使用方法							
	講義	毛髪の痛みの原因について							
	講義	化粧品、医薬部外品についての正しい知識							

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必修	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
総合技術	○		2年生	261			○	有	永本・上野・諸隈
到達目標				成績評価の方法・基準					
美容師国家試験の実技試験、筆記試験の両方ともに合格できるようになること。				出席状況 校内コンテスト、各テスト					
使用教材・教具				参考文献					
・国家試験課題に必要な用具 ・筆記用具 (レイヤーカット式・ワンディングもしくはオールウェーブ式)									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～15	実技	・国家試験対策(レイヤーカット) 20分間で仕上げるだけでなく、衛生面に配慮した技術を行いながら、左右のバランスやシンメトリーにも注意しながら、国家試験合格レベルの技術を身につける。							
16～121	実技	・国家試験対策(第2課題 ワインディングもしくはオールウェーブ) 11月の課題発表後にどちらを行うか決定する。 規定時間内に仕上げるだけでなく、全体のバランスや衛生面を配慮しながら行う。							
122～130	実技・講義	・国家試験対策 衛生に関する説明と注意 衛生面に関する準備や表示の説明と準備を行う。							
131～148	実技	・国家試験リハーサル 本番同様の机を準備し、試験室内への入場から準備、試験、退室までを行い、第1課題、第2課題、衛生の審査を行う。							
149～261	実技	・国家試験筆記試験対策 過去問題を2年分ずつ解き、訂正まで行う。 勉強が苦手な人や合格点に届かない人は少人数クラスを編成して集中的に対策を行い、その後の点数次第で再編成を週ごとに行う。							

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
総合技術(食品保健栄養理論)		○	2年	33	○		○	有	脇山 順子
到達目標				成績評価の方法・基準					
①人として健康に食べる力をつける。				レポート提出(20%)					
②人間らしく楽しく食べる力をつける。				定期試験(80%)					
③環境に優しく食べる力をつける。									
④食育基本法を理解する。									
⑤食事のバランスと適量を理解する。									
⑥病気になる食事を理解する。									
⑦栄養素の働きと食事摂取量を理解する。									
⑧食の欧米化と日本型食生活を理解する。									
使用教材・教具				参考文献					
資料									
レジュメ									
授業計画									
時間	授業方法	学修内容							
1~3	講義	1 主食、主菜、副食、副々食が揃った食事 (日本型食事内容=ご飯と一汁三菜)	<ul style="list-style-type: none"> ○脳を活性化させるのに必要な糖質を理解する ○生命の維持に必要なたんぱく質を理解する ○ビタミン、ミネラル、食物繊維の役割を理解する ○栄養バランスのよい食事内容を理解する ○何をどれだけ食べればよいのかを理解する 						
4~6	講義	2 朝食の役割と効用	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食と学力向上の関連性について理解する ○共食のメリット&孤食のデメリットを理解する ○年齢・性別に応じた適量を理解する ○適量が守れない傾向を理解し、その対策を考察する 						
7~9	講義	3 噛む力を育む食事	<ul style="list-style-type: none"> ○噛むことのメリット(卑弥呼の歯がよいぜ)を理解する ○噛む力と味わう力との関連性を理解する ○基礎代謝と基礎代謝を高める食べ方を理解する ○空腹感と満腹感のしきみを理解する 						
10~12	講義	4 体温と免疫力の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ○バランスの悪い食事による体内の変化を理解する ○低体温になる9つの行為を考察する ○体を冷やさない食事の必要性を理解する ○体を温める食生活について理解する 						
13~15	講義	5 ストレスと食事の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレスの感じ方には個人差があることを理解する ○ストレスを受けやすいタイプかどうかを考察する ○ストレスによる食生活の変化を理解する ○ストレスに関わる栄養素とそれらを含む食品を理解する ○ストレスと上手につきあう10か条を理解する 						
16~18	講義	6 脳をいきいきとさせる食生活とは (国家試験に向けての脳の活性化)	<ul style="list-style-type: none"> ○脳のしくみと脳に必要な栄養素を理解する ○自分自身の脳疲労度とその解消法を理解する ○先人が実行してきた健脳食ベスト10を理解する ○医食同源の考え方を理解する ○自分自身の体質がどのタイプに属するかを考察する 						
19~21	講義	7 髪のトラブルと食生活	<ul style="list-style-type: none"> ○髪に必要な栄養素について理解する ○抜け毛、枝毛の原因と防ぐ食べ物を理解する ○白髪を防いで髪の色つやを美しく保つ食べ物を理解する 						
22~24	講義	8 貧血と食事の関連性	<ul style="list-style-type: none"> ○日本人女性の貧血の実態を理解する ○鉄欠乏性貧血の原因を理解する ○鉄欠乏性貧血の症状と予防点を理解する ○貧血予防のための食生活の要点を理解する 						
25~27	講義	9 調理実習の準備	<ul style="list-style-type: none"> ○実習するための班を編成する ○実習内容を話し合っ決定する ○食材・調理器具など役割分担を話し合っ決定する ○実習をスムーズに実施する為の約束事を決定する 						
28~30	実習	10 調理実習(その1)	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで決めたことを調理する楽しさを味わえたか、考察する ○反省(安全・衛生面など)と次回の取り組みについて確認する 						
31~33	実習	11 調理実習(その2)	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで決めたことを調理する楽しさを味わえたか、考察する ○反省とグループ実習を通して会得したことを考察する ○家族のための食事作りや一人暮らしでの実践力を考察する ○無形文化遺産としての和食を継承する必要性を理解する ○郷土食には先人の知恵が結集されていることを理解する ○自己健康管理を実践する必要性を理解する 						

長崎県美容専門学校 令和4年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
総合技術(接客)	○		2	6	○		○	有	上野・諸隈
到達目標				成績評価の方法・基準					
社会人になるうえで基本的な接客技術を身につける				実技試験(100%)					
サロンにおける接客技術の向上									
使用教材・教具				参考文献					
配布資料									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～6	講義・実習	・接客対応							
		・接客技術							
		・ホスピタリティー							
		・電話対応							
		・あいうえお表 滑舌練習							
		・電話を受ける 基本的な手順							
		・対応で気を付けること							
		・サロンにおける接客技術							
		・美容師としての身だしなみ							
		・名刺交換							
		・接客 ここがポイント！							
		・挨拶に伴う所作							
		・接客フロー シャンプー カラーの場合							
・振り返り									